

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 高知県宿毛市
本事業の担当部局名 企画課

事業メニュー	結婚新生活支援事業							
区分	一般コース							
関連事業メニュー	4.1 結婚新生活支援事業(一般コース)							
個別事業名	宿毛市結婚新生活支援事業		新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続				
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	令和3年度			
総事業費(A)(円)	3,600,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	3,600,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,600,000							
費用内訳(円)	個別事業の内容のとおり							
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通 年々減少し続けている人口、それに伴う婚姻件数の減少や出生人数の減少が喫緊の課題となっている。 過年度に引き続き、婚姻件数や婚姻率の低下に歯止めをかけるべく、結婚新生活支援事業を実施し、経済不安から結婚に踏み切れない層に対して補助を行う。							
	＜本個別事業の位置付け＞ 本市の少子化対策としては、婚姻届出件数や子育ての満足度を目標項目として設定し、子育てにやさしいまちづくりを進めている。さらに、本事業を活用し、婚姻に伴う新生活を経済的に支援することで、地域における少子化対策と定住人口の増加につなげたいと考えている。							
個別事業の内容	1. 概要							
	【対象費用】							
	☒	住宅取得費用	☐	住宅リフォーム費用	☒	住宅賃借費用	☒	引越費用
	【補助対象要件】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載							
	所得要件	国基準	夫婦の合計所得が500万円未満					
		自治体独自基準						
	年齢要件	国基準	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯					
		自治体独自基準						
	【補助上限額】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載							
	29歳以下の場合	国基準	各費用に係る合計が60万円					
自治体独自基準								
39歳以下の場合	国基準	各費用に係る合計が30万円						
	自治体独自基準							
【その他独自要件】								
・県税及び市税を滞納していないこと ・5年以上定住の意思があること								

2. 申請見込

①新規世帯見込	6		世帯	②継続補助世帯見込	2		世帯
上記のうち	ともに29歳以下	3	世帯	(継続補助規定の有無)	有		
	その他	3	世帯				

【世帯数積算根拠】

令和7年度新規については、29歳以下を3世帯、その他世帯を3世帯計上している。
また、令和6年度申請予定が4件となっており、うち継続に関しては29歳以下を1世帯、その他を1世帯計上している。
計8件 3,600,000円

(参考)

【令和6年度申請状況】	実施中
申請世帯数見込	4世帯
～12月(実績)	1世帯
1月～3月(見込)	3世帯

【金額積算根拠】

＜上限額＞	＜左記の上限額の合計を使用しない場合の積算＞
(29歳以下) 3 世帯 × 600,000 円 =	1,800,000 円
(その他) 3 世帯 × 300,000 円 =	900,000 円
(継続補助)	900,000 円
合計	3,600,000 円

3. 広報の実施予定

市及び県HPの掲載や、婚姻届を受理する市役所や各支所、不動産業者においてチラシの配布・配架することで、幅広く情報提供をする。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻届出件数		件	50 (R11年度)	45 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.37 (R4年)	
	婚姻件数		件	31 (R4年)	
	婚姻率			1.7 (R4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	支給世帯実績／支給見込世帯数の割合	%	100 (R7年度)	100 (R5年度)
	(アウトカム)				
	①	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	80 (R7年度)	75 (R5年度)
	②	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「地域に応援されていると感じた世帯の割合」	%	80 (R7年度)	75 (R5年度)